

紫式部 原作 源氏物語

切り絵と竹灯籠展

出品目録



紅葉賀
(もみじのが)

切り絵 神谷雪子 竹灯籠 白川喜代治

会期 平成29年7月5日(水)～7月31日

会場 日本切り絵百景館

主催 全国切り絵同好会、日本切り絵百景館

開館時間: 午前10時～午後4時 休館日: 毎週火曜日

切り絵と竹灯籠の展示 竹灯籠の展示作品には○印をつけて

います。

第1帖 切り壺、 第2帖 帚木、 第3帖 空蟬、

第4帖○夕顔、 第5帖 若紫、 第6帖 ^{すえつむはな}末摘む花、

第7帖 ^{もみじのが}○紅葉賀、 第8帖 花宴、 ○第9帖 ^{あおい}葵、

第10帖 ^{さかき}○賢木、 第11帖 花散里、 ○第12帖須磨

○第13帖 明石、 第14帖 ^{みおつくし}滯標、 ○第15帖 ^{よもぎう}蓬生、

○第16帖 関屋 第17帖 絵合、 第18帖 松風、

○第19帖薄雲、 第20帖あさがお、○第21帖少女、

第22帖 ^{たまかざら}玉蔓、○第23帖 初音、 第24帖 胡蝶、

第25帖 蛩、 第26帖 常夏、 第27帖 篝火、

第28帖 野分、 第29帖 行幸、 第30帖藤袴、

○第31帖 ^{まきばしら}真柱、 ○第32帖 ^{うめがえ}梅枝、 ○第33帖 ^{ふじのうらば}藤裏葉、

第34帖 若菜上 ○第35帖 若菜下 ○第36帖柏木、

○第37帖 横笛、 ○第38帖 鈴虫、 第39帖 夕霧

- 第40帖 ^{みのり} 御法 第41帖 幻 ○第42帖 ^{におうのみや} 匂宮、
 第43帖 紅梅、第44帖 ^{たけかわ} 竹河、第45帖 橋姫、
 第46帖 ^{しいがもと} 椎本、第47帖 ^{あげまき} 総角、○第48帖 ^{さわらび} 早蕨、
 第49帖 宿木 第50帖 東屋、 第51帖 浮舟、
 ○第52帖 ^{かげろう} 蜻蛉、 第53帖 手習、 第54帖 夢浮橋、

源氏物語の主な登場人物

光源氏	玉蔓	薫
藤壺の宮	明石の君と姫君	女三の宮
紫の上	朧月夜	浮舟
六条の御息所	頭の中將	匂宮
夕顔	夕霧	
空蝉	柏木	

神谷雪子 略歴

- 昭和22年 群馬県高崎市にうまれる。現在前橋市総社町に居住
 昭和19年 前橋中央切り絵同好会に入会、切り絵に親しむ。
 平成20年 全国切り絵コンクールに出品～準入選
 平成21年
 平成21年9月より交通新聞に源氏物語の連載開始
 平成22年 全国切り絵同好会の修士に認定さる。
 平成23年 全国切り絵同好会の講師に認定される。
 平成24年～8年 全国切り絵コンクールに入選
 平成28年 渋川市吉岡町図書館において源氏物語展が開催さる。

プロフィール

白川 喜代次（しろかわ きよじ）滋賀県蒲生郡竜王町在住

1945年生（72歳）

2005年

ダイハツ工業(株)を定年退職後、自家畑にて野菜作りの傍ら、盆栽、ホンモロコ釣り、ヒラメ釣りを趣味としていました。

2013年10月

浮き出る美しい絵と光の暖かさに惹かれ、若い時に木型職人を目指して

(～24歳まで)、鑄造木型、車の木型モデル、クレーモデル等の経験から

なんとか、つくれるものならばと、趣味として竹灯籠作りに自己流で挑戦しました。

2014年1月

切り絵の検索から、群馬県在住の切り絵作家・神谷雪子さんの切り絵画文集「源氏物語」の切り絵を見つけました。その作品に感動し、早速、日本切り

絵百景館の後藤館長さんと、神谷雪子さんにお電話をして、題材に使わせていただきたくお願いをしましたところ、快く承諾をいただきました。そして切り絵画文集を送っていただいて、「源氏物語」シリーズで順次、竹灯籠の作製にかかりました。私にとりまして、神谷さんの切り絵は、すばらしい出会いとなりました。

2015年3月

竜王町図書館、道の駅かがみの里、弓削メディカルクリニック、滋賀県民交流センター（ピアザ淡海）、茨木市総持寺等において展示をさせていただきました。

2017年7月

今回、後藤館長さんのご好意によりまして、切り絵作家・神谷雪子さんの

切り絵と私の竹灯籠とのコラボ展が実現することになりました。趣味で始めました竹灯籠づくりですが、滋賀県から遠くはなれた群馬県で、このような展示会をさせていただくことに大変な喜びを感じております。

竹灯籠～特別展示 リスときのこと 相馬野馬追